ご退職される先生より

退職にあたって

地歴公民科
佐藤　治之

葵高校での勤務を最後に退職いたします。四年間、本当にありがとうございました。特に、卒業学年保護者の皆様方には大変お世話になりました。昨年、夏には、担任であるのに入院というご迷惑をおかけいたしまして、本当に申し訳ありませんでした。

葵の保護者の皆様は、子どもさん思いの優しい方々でPTA活動にも積極的に参加いただき、親交を深めることが出来ました。保護者の方々の中には、私が在職した田島・坂下・会津・喜多方各高校で関係のあった方も多く、若き日の我が身を振り変えると身の縮む思いでした。教師としてなすべきことが出来たのかと問われれば、充分とは言えないことがほとんどだったように思えます。今後は、自分が出来ることで可能な限り、会津のために力を使いたいと思っております。人生の約三分の二に当たる約四十年間お世話になった会津は、私の人生にとって大切な場所です。本当にお世話になりました。

タチアオイの思い出

数学科
大橋　泰二

教員生活あっという間でした。新採用は福島市の特別支援学校、自宅から通い大学の延長のような生活でした。三年後三春町の田村高校へ転勤、すぐ一年生の担任、バスケット部顧問、苦労した思いがあります。そのとき癒してくれたのは、通勤の山道に咲いていた凛としてまっすぐに立つ花でした。へこみがちな心にまっすぐ生きよと教えてくれているようでした。その後郡山、福島地区をへて十数年前に家内の実家である会津地区に異動してきて、その花が立葵（たちあおい）であるとわかり、さらに葵高校のシンボルの花であることに、人生の縁を感じているところです。

会津の生徒は他地区と比べて純粋で優しい心根の持ち主です。ここで退職でき本当に感謝しています。ときどき体調を崩し、生徒の皆さん先生方にご迷惑をおかけしました。葵高校に本当にお世話になりました。ありがとうございました。

似合わぬことは

国語科
齋藤　功

『時代遅れ』という歌がある。時代に流されず、心に熱い思いを秘めながらもつつましく生きる「大人の男」を歌ったものだ。その中に「似合わぬことは無理をせず」というフレーズがある。さて、退職するに当たって、「教師になってずいぶん『似合わぬこと』をしてきたなあ。」という思いが強い。もともと私は（我々の世代はといってもいいか）、クールに生きることを「美」としていた。「金八先生」に憧れて教師になったという人によく出会ったが、「ああいう暑苦しいのはゴメンだ」とひそかに思った。しかし、この仕事に就いて、大勢の生徒を前に説教じみたことを声高に言ったり、乱闘を止めに入って逆にシャツをビリビリに破られたりなどなど、「似合わぬ」振る舞いを重ねてきた。お金を稼ぐということは、自分の美意識など粉砕されてしまうのだ。でも、そうして「似合わぬこと」をしてきたことで、自分の人間としての「厚み」とか「幅」とかが少し加わったようだ。仕事はありがたいものだ、と今にして思う。

役員一同より

今年度も保護者の皆様には、本活動につきましてご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。また、各専門委員の皆様には大変お世話になりました。高P連の研修会参加、進路講演会の準備や運営、雨の朝の登校指導、遅くまでの会報づくり等多くの方々に支えていただきました。

本会は子供達の成長を側面から支え、学校の教育活動を後押ししようというものです。本会の活動をとおし、学校をよく知り子供の様子をよく理解するきっかけにしていただきたいと思います。

会の運営につきまして様々なご意見をいただき、よりよい組織になっていければと思いますので、来年度また役員が代わりましてもよろしくお願いいたします。

本年度役員一同心より御礼申しあげます。

編集後記

今回も最後までご覧頂きまして誠に有り難う御座いました。

前号のお弁当特集はPTA広報誌福島県の大会で見事県代表に選ばれ東北大会に進出しました。今回も広報委員会ご担当の保護者のご尽力から素晴らしい作品が誕生しました。

広報委員会の主な活動は年に四回程度の編集会議を行い、懇親会も年二回程度、和気藹々と開催しています。熱心な保護者は、葵祭、合唱大会、定期演奏会などに直接取材に行き、写真や記事も書いております。とはいえ、会議だけでも十分に楽しめますので、編集等にご興味ある方は、是非、のぞきに来てみて下さい。

三年生の生徒の皆さんはいよいよ一般社会のお仲間入りです。高校時代の同級生や友人は社会的地位が全く関係ないので二十年、三十年経っても友情が変わりません。社会に出て多少疲れてきたら、是非、同級生と心の底から楽しんで下さい。

これからも、皆様方の益々のご活躍を御祈念しております。

（磯貝）

▼ホームページはこちら
http://www.aoi-h.fks.ed.jp
福島県立葵高等学校　検索